

第 1 回荒尾駅周辺地区バリアフリー基本構想策定協議会の振り返り

開催日：令和 6 年 2 月 8 日（木） 15：00-17：00

場所：荒尾市役所 31 号会議室

議事		内容
(1) 策定スケジュール及び検討手法について		
<ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリーは大事な考え方で、単にバリアを除くだけでなく、インクルーシブデザインという形まで進歩している ・物をつくるのではなく、困っている人がいればみんなで助けるなど心のバリアフリーが必要である ・市民の方と一緒に作ることが重要である 		
(2) 生活関連施設・経路の設定方針について		
荒尾駅		<ul style="list-style-type: none"> ・駅を何とかしたい。人が集まらないと発展がないため、南新地と駅をつなげたい ・荒尾駅はバリアフリー対応でないため、障がい者やベビーカー利用者は、荒尾駅を利用せず大牟田駅か玉名駅を利用する ・東口、西口それぞれエレベーターを設置し自由通路で結び行き来できるようにしたいと考えている
駅前 広場	交通広場 歩行者広場	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが安心して歩ける安心感のある場所になったほうがよい ・荒尾駅のメリットとしては、プロログ広場に駐車ができることであり、障がい者の駐車場を作ってほしい
	バス	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者は、コロナ前までの利用者数に戻っていないが、グリーンランドへ結ぶ路線は長期休み時に混雑する ・マウントアップの歩道は、車いすの方がスムーズに乗降可能であり、まち歩きでマウントアップの有無とバス路線はセットで見てもらいたい
	タクシー	<ul style="list-style-type: none"> ・おもやいタクシーは観光、通勤、通学、通院等に利用でき、使いやすく安価で評価が高い
商店街		<ul style="list-style-type: none"> ・大正町通りは店に入るのに、歩道の横の段差が大きく、障がい者は利用しにくい ・駅から南新地の通りは非常に人が少なく、もう少し明るくしたい
経路		<ul style="list-style-type: none"> ・歩道は道路より少し高く、宅地の出入り口付近は斜めになっていて年寄り、足が弱い人、歩行者にとっては危ない ・ベビーカーを利用する際に、歩道の小さな段差や幅員が狭い箇所があり危険と感ずる ・停車場線には、街路樹の根上がりや、時期によっては葉も落ちている ・海陽スマートタウンに住んでいる子どもたちは停車場線を通ると思われるため、ゾーン 30 プラスなどと絡めていけたらと思っている